

## あたらしい皮膚科学 正誤表

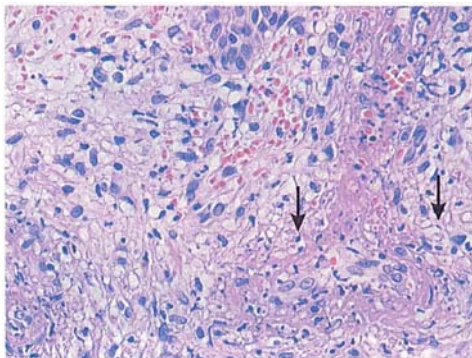
(2009. 9. 29 作成)

### ■初版第1刷をお持ちの方（初版第2刷以降の正誤表もご参照ください）

頁・箇所	誤	正
xiii 上9行	燈明細胞性角化症	澄明細胞性角化症
63 頁タイトル英語表記	Immunology of the skin	Diagnosis of skin disease
154 頁図 11.7	慢性色素性紫斑（purpura pigmentosa chronica）	特発性色素性紫斑（idiopathic pigmentary purpura）
同表 11.6	慢性色素性紫斑の鑑別	特発性色素性紫斑の鑑別
235 頁本文上1行目	banboo	bamboo
356 頁本文上20行目	2. 燈明細胞性角化症	2. 澄明細胞性角化症
同本文上26行目	燈明細胞	澄明細胞

### ■初版第2刷をお持ちの方（初版第3, 4刷以降の正誤表もご参照ください）

頁・箇所	誤	正
75 頁図 6.2	基材	基剤
96 頁本文下4行目	図 3.8	図 3.9
137 頁図 11.3 図中	矢印もれ	欄外参照
137 頁図 11.3 図説明	核虚	核塵
168 頁本文下9行目	55kD	52kD
408 頁下図番号	図 22.33	図 22.34
453 頁本文上5行目	尋常性挫瘡	尋常性ざ(やまいだれに坐)瘡



### ■初版第3, 4刷をお持ちの方（初版第5, 6刷以降の正誤表もご参照ください）

頁	誤	正
301 頁本文上15行目	4. Melkersson-Rosental 症候群	4. Melkersson-Rosenthal 症候群
301 頁本文上16行目	Melkersson-Rosental syndrome	Melkersson-Rosenthal syndrome

■初版第 5, 6 刷をお持ちの方 (初版第 7, 8 刷以降の正誤表もご参照ください)

頁・箇所	誤	正
9 頁本文上 1 行目	角質	角層
9 頁本文上 6 行目	角質間脂肪間脂質	角質細胞間脂質
75 頁本文上 12 行目	w/o	o/w
239 頁本文下 10 行目	羊毛様の毛掌皸角化症	羊毛状毛, 掌蹠角化症
433 頁本文上 11 行目	真皮乳頭の上方向への延長が認められ,	削除
433 頁本文上 13 行目	ケラトヒアリン細胞	ケラトヒアリン顆粒

■初版第 7, 8 刷をお持ちの方 (初版第 9 刷以降の正誤表もご参照ください)

頁・箇所	誤	正
24 頁図 1. 41	serection (3 箇所)	secretion (3 箇所)
47 頁本文 10 行目	アレルギーを起こす	アレルギーにより発症する
66 頁表 5. 2	複数箇所	表差し替え欄外参照
67 頁表 5. 3	数値変更	表差し替え欄外参照
67 頁表 5. 4	数値変更	表差し替え欄外参照
120 頁表 9. 5 下 1 行目	neorolytic migratory erythema	necrolytic migratory erythema
139 頁図 11. 6 図説明	あるした特殊型	ある特殊型
161 頁表 12. 1 上 3 行目	aphtha	aphta
241 頁本文上 13 行目	数時間〜	数日間〜
265 頁本文下 15 行目	frecles	freckles
271 頁下 1 行目	アミロイド苔癬	皮膚限局性アミロイドーシス
296 頁図 18. 12 図説明	Werner 症候群	Wilson 病
339 頁 MEMO 上 2 行目	小色素班	小色素斑
340 頁本文下 5 行目	乳児期以降, 数の増加はない	削除
346 頁本文上 11 行目	LBK1 遺伝子	LKB1 遺伝子
416 頁本文上 2 行目	CD69	CD56
453 頁本文下 6 行目	膿点	膿栓
468 頁本文上 13 行目	テルフェナビン	塩酸テルピナフィン

表 5. 2 貼布試験 (パッチテスト) 判定基準

本邦基準	ICDRG 基準
- 反応なし	- 反応なし
± 軽い紅斑	+? 紅斑のみ
+ 紅斑	+ 紅斑+浸潤, 丘疹
++ 紅斑+浮腫, 丘疹	++ 紅斑+浮腫+丘疹+小水疱
+++ 紅斑+浮腫+丘疹+小水疱	+++ 大水疱
++++ 大水疱	IR 刺激反応
	NT 施行せず

ICDRG : International Contact Dermatitis Research Group

表 5.3 スクラッチテスト判定基準 (15~30 分後)

判定	膨疹 (mm)	発赤 (mm)
陰性 (-)	<5	<15
陽性 (+)	5 ≤	15 ≤

表 5.4 皮内反応判定基準 (15 分後)

判定	膨疹 (mm)	発赤 (mm)
陰性 (-)	<7	<15
偽陽性 (±)	<9	15 ≤, <20
陽性 (+)	<15	20 ≤, <40
強陽性 (++)	15 ≤	40 ≤

■初版第9刷をお持ちの方 (初版第10, 11刷以降の正誤表もご参照ください)

頁・箇所	誤	正
1 頁本文下 1 行目	cleavageline	cleavage line
79 頁本文上 10 行目	角質融解作用	角質溶解作用
87 頁本文上 5 行目	photochemotherapy	phototherapy
97 頁図 7.7 図説明	g:	f:
164 頁本文上 2 行目	分裂症様症状	統合失調症様症状
234 頁本文上 5, 10 行目	トランスグルタミナーゼ	トランスグルタミナーゼ 1
293 頁本文上 7 行目	RecQ3 ヘリカーゼ	RecQL2 ヘリカーゼ

294 頁本文上 4 行目	RecQ4 ヘリカーゼ	RecQL4 ヘリカーゼ
304 頁本文下 9 行目	MRP6 遺伝子	ABCC6 遺伝子
305 頁本文上 12 行目	MRP6 遺伝子	ABCC6 遺伝子
420 頁図 22.50 d. 悪性黒子型	真皮に異型メラノサイトが落ちてない	欄外参照
423 頁表 22.14	T2:厚さが 1.01~2mm のもの	T2:厚さが 1mm より大きく 2mm 以下のもの
同	T3:厚さが 2.01~4mm のもの	T3:厚さが 2mm より大きく 4mm 以下のもの
同	T4: 厚さが 4.01mm 以上のもの	T4:厚さが 4mm より大きいもの
423 頁表 22.15 左カラム	IIIC	III
427 頁本文上 4 行目	chickenpox	chicken pox
475 頁本文上 13 行目	intection	infection
508 頁表 29.1 上 3 行目	Dowling-Meala 型	Dowling-Meara 型
同上 16 行目 豪猪皮状魚鱗癬	ケラチン 1, ケラチン 10	ケラチン 1
同上 19 行目 Sjögren-Larsson 症候群	FALDH	ALDH3A2
509 頁表 29.1 上 28 行目 弾力線 維性仮性黄色腫	MRP6	ABCC6
同上 37 行目 Werner 症候群	WRN	WRN (RECQL2)
同上 38 行目 Bloom 症候群	BLM	BLM (RECQL3)
同上 39 行目 Rothmund-Thomson 症候群	RECQL4	RTS (RECQL4)

420 頁図 22.50



d. 悪性黒子型

■初版第 10, 11 刷をお持ちの方（初版第 12 刷以降の正誤表もご参照ください）

頁・箇所	誤	正
19 頁本文下 14 行目	これを皮膚小帯 (retinacula cutis) といい、真皮とその深部組織との結合を強めている	この線維束によって真皮とその深部組織との結合が強固となっている

■初版第 12 刷をお持ちの方 (初版第 13 刷以降の正誤表もご参照ください)

頁・箇所	誤	正
31 頁図 2. 13 のタイトル	図 2. 13 棘融解：尋常性天疱瘡	図 2. 13 棘融解：Hailey-Hailey 病
35 頁図 2. 22 タイトル	図 2. 22 隔壁性脂肪織炎：硬結性紅斑	図 2. 22 隔壁性脂肪織炎：結節性紅斑
64 頁 MEMO 上 3 行目	粒起革様：なめした皮のように表面が粗い様子。	粒起革様：鮫皮のように表面がブツブツした革という意味。
189 頁表 13. 2	必要量 = 4 × 受傷面積 (%) × 体重 (%)	必要量 = 4 × 受傷面積 (%) × 体重 (kg)
344 頁本文上 13 行目	粒起革とは“表面がブツブツした、なめしてない革”	粒起革とは“鮫皮のように表面がブツブツしている革”
355 頁本文下 4 行目	顔面や頭部、体幹などの脂漏部に扁平丘疹として出現し、	顔面や頭部、体幹などに扁平丘疹として出現し、
370 頁本文上 7 行目	額部や眼瞼部に生じたもの〔サモンパッチ (salmon patch)〕は 2 歳頃までに自然消退するが、項部に生じたもの〔ウンナ母斑 (nevus Unna)〕は自然消退しない。	額部や眼瞼部に生じたもの〔サモンパッチ (salmon patch)〕は 2 歳頃までに大部分が自然消退するが、項部に生じたもの〔ウンナ母斑 (nevus Unna)〕は消退しにくい。

■初版第 13 刷をお持ちの方

頁・箇所	誤	正
6 頁図 1. 11 中央やや下	真皮のコラーゲン I or II	真皮のコラーゲン I or III
53 頁本文下 1 行目	(後述. 図 4. 21 参照).	(後述. 図 4. 24 参照).
67 頁本文上 6 行目	その短径を測定し	その平均長径を測定し

82 頁本文上 6 行目	ヨードカリは皮膚の血管炎を伴う疾患（結節性紅斑）など	ヨードカリは好中球遊走化の調整作用があるため、病初期に好中球が出現する皮膚疾患（Sweet病，結節性紅斑など）
82 頁本文下 11 行目	抗真菌薬（ヨウ化カリウム，グルセオフルビン，アムホテリシン B，	抗真菌薬（グルセオフルビン，アムホテリシン B，
84 頁本文上 7 行目	膿疱性感染	膿疱性乾癬
105 頁本文上 7 行目	自己感作性皮膚炎	自家感作性皮膚炎
213 頁図 14. 20①の図説明	浮腫性の掻痒性紅斑と	浮腫性の紅斑と
218 頁表 14. 4 蛍光抗体法所見 ×線状 IgA 水疱症	病変部基底膜部 IgG	病変部基底膜部 IgA
477 頁本文上 10 行目	ヨウ化カリウムが有効. ほかには抗真菌薬内服, 温熱療法など	イトラコナゾールが有効. ほかにはヨウ化カリウムや温熱療法など
505 頁図 28. 9 図説明	閃光色	鮮紅色